

第34回 全国建築板金競技大会

課題及び審査基準 (抜粋)

< 建築技術の部 (NYAC) >

平成23年2月11日(土)・12日(日)

静岡県富士宮市「富士教育訓練センター」

全日本板金工業組合連合会
社団法人日本建築板金協会
青年部

第34回 全国建築板金競技大会 建築技術の部 (NYAC) 課題

平成23年9月18日出題

◇下記に示す条件に沿って、施工図・説明文を作成しなさい。

1. 競技時間

施工図・説明文作成：4時間

※図面・文書作成に要する競技時間

2. 支給する材料

品名	数量	寸法・規格
セクションペーパー	2枚	A2(594mm×420mm) コクヨ ホー17N
A4用紙	1枚	A4(210mm×297mm)

3. 仕様

- 当日支給するセクションペーパー (A2版 594×420 mm) 2枚に、描いていただきます。
- 別紙 A4 用紙には、説明文を書いていただきます。

- 描く内容については1枚目、2枚目の指定はありません。

カタログや文献等の資料の持ち込みを一切禁止します。

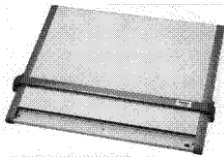
ドラフターやパソコン・電子辞書(辞書)の、競技会場への持ち込みも

一切禁止します。

◎本年度課題の趣旨説明

- ・今回は、友人が築15年の中古物件を購入し、屋根板金が錆びているために屋根改修工事を行うことになりました。ついては改修にあたり屋根等の納まりの詳細と提案も含め実際に施工するための施工図面を描いていただきます。
また、友人が将来的に太陽光発電システムの設置を計画しているので(株)ホンダソルテック社製品をこちらから提案したいと考えています。
- ・「責任施工保証制度」の正しい理解を促し、保証書の発行を前提とした 施工図を作成していただきます。
- ・製図の基本を知るという観点から、線の種類、寸法の描き方について製図総則(JIS Z 8310)並びに建築製図通則(JIS A 0150)に基づいて正しい施工図を作成していただきます。
- ・保証書の発行が前提ですので、全日本板金工業組合連合会発行の冊子「建築板金施工法—金属屋根施工篇—」の要領に基づいて描いてください。

4. 選手が持参するもの(※は使用禁止なもの)

品名	備考
製図板 または 平行定規	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>会場では準備しておりませんので必ず持参して下さい。</u> ● 製図板を傾けるための台は認めます。 ● 平行定規は使用できます。  <p>(平行定規付き製図板の例)</p>
T定規	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>会場では準備しておりません。</u>
製図道具一式	<ul style="list-style-type: none"> ● 選手各自、持参して下さい。
※ドラフター類	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>使用できません。</u>

電卓類	<ul style="list-style-type: none"> • 使用できます。 • 関数計算機能付電卓使用は可とします。
※パソコン類	<ul style="list-style-type: none"> • <u>一切使用できません（PDAタイプなどを含む）。</u>
マスキングテープ	<ul style="list-style-type: none"> • 図面押さえ用
服装	<ul style="list-style-type: none"> • 作業に適した服装を準備して下さい。 • 作業帽子を支給します（自前の帽子は使用不可）。

5. 会場で準備・配布するもの

品名	数量	備考
課題冊子	1	<ul style="list-style-type: none"> • <u>当日再配布します。持参した課題冊子は使用不可。</u>
セクションペーパー	2枚	<ul style="list-style-type: none"> • A2 (594×420 mm) コクヨ ホー17N
A4用紙	1枚	<ul style="list-style-type: none"> • 提出する説明文の記入用
タイトルシール	2枚	<ul style="list-style-type: none"> • ゼッケン番号、作図者、図面タイトルなどの記入用 • タテ 66 mm × ヨコ 144 mm
作業帽子	1	<ul style="list-style-type: none"> • 自前の物は使用不可。上着は支給しません。

6. 審査基準

- 5ページからの「審査基準（抜粋）」をご覧ください。

7. 道具の送付について

道具類を事前に送付する際は宛先に、

「富士教育訓練センター気付 日板協青年部〇〇〇〇〇（氏名）」

と、必ず明記してください。

会場には、**開会式前日に届くようにして下さい。（前日に必着のこと）**

（現地の便数の都合で、当日着指定は間に合わない場合があります）

8. 課題に対する質問

- 課題に対する質問等がありましたら、青年部長もしくは副部長が代表として、全日本板金工業組合連合会事務局まで書面にてお申し出下さい。
FAX：03-3456-2781 E-mail：zenban@sage.ocn.ne.jp
※1. 質問は出来る限り具体的に記述してください。
※2. 質問内容を確認させていただく場合がありますので、連絡先を明記してください。
- **質問の受付は平成23年12月12日（月）17時到着分まで**とします。
- **質問受付期日を過ぎた質問に対しては、いかなる場合でも回答は出来ませんので**
ご注意ください。なお**大会当日の質問又は異議申し立ては受付けておりません。**

第 34 回全国建築板金競技大会 【建築技術の部】 審査基準 (抜粋)

1) 採点の方法

採点の方法は得点法を用い、図面①、②の合計 550 点を満点とする。
高得点者をもって上位者とする。

2) 採点項目及び配点

	採 点 項 目	得 点
図 面 番 号 ① ・ ②	全体 (バランス・図面の汚れ・総合)	100
	完成度 (必要な箇所が描かれているか)	100
	納まり (不具合のない納めになっているか)	100
	仕様 (使用材料の選定に問題がないか)	50
	寸法 (正しく記入されているか)	50
	線 (正しく記入されているか)	50
	文字 (正しく記入されているか)	50
	合 計	500
別紙	太陽光発電について	50
総 合 計		550

3) 失格事項

次の項目に該当した者は失格とする。

- 1) 競技中、不注意等により他人にケガをさせた場合。
- 2) 競技の途中で不正行為により退場を命じられた場合。
- 3) 使用を禁止されている道具等の使用が判明した場合。

4) その他

採点については、審査基準によることを原則とするが、採点項目以外の事項で不適切と認められる事項があった場合には、採点用紙に当該事項を明記しておき、競技終了後審査委員が合議して減点するか、否かを決定する。

減点する場合は、審査基準に示す採点項目との均衡を考慮して、減点数を決定するものとする。

【建築技術の部(NYAC) 課題】

問 題

今回の課題は、施工図面の作成です。友人が築15年の中古住宅物件を購入し、屋根板金が錆びているために屋根改修工事を行うことになりました。については改修にあたり屋根等の納まりの詳細と提案も含め実際に施工するための施工図面を作成することになりました。

また、友人が将来的に太陽光発電システムの設置を計画しているので(株)ホンダソルテック社製品をこちらから提案したいと考えています。

工事概要は、木造平屋建てです。

屋根形状は切妻屋根に、一部、屋根窓(ドーマーウィンドウ)が出ています。

既存立馳ぶき屋根(H=20mm)に断熱材の敷き込みを行い、カバー工法で立馳ぶきを希望されています。

キッチン上の吹き抜けの屋根窓はポリカーボネイトプレート(厚さ5mm)を貼ります。下地等必要なものは施工図に明記して下さい。

今回、施工図面で納まりを知りたいのは、以下のとおりです。

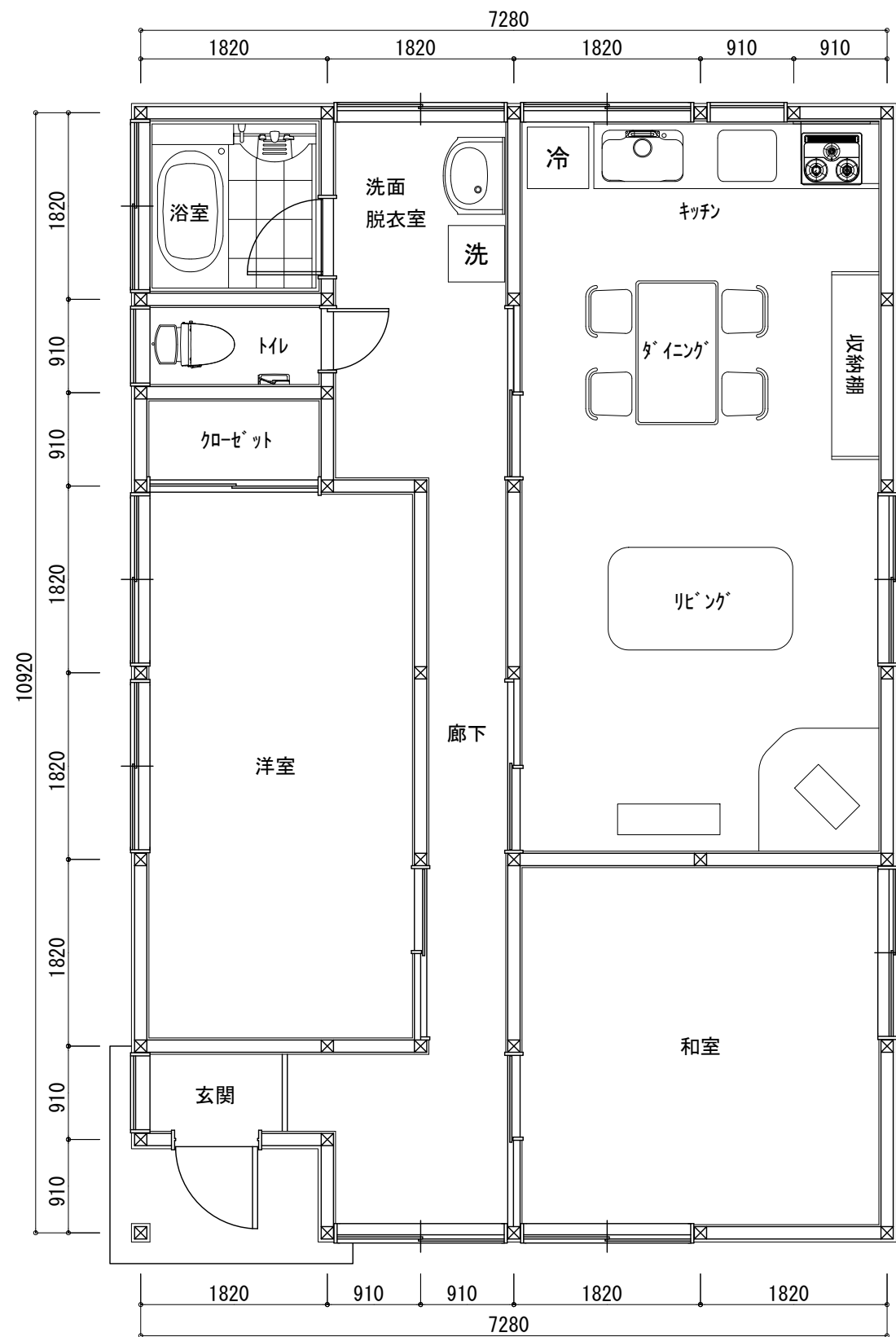
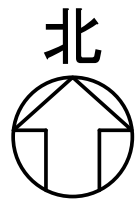
- ・屋根伏せ図(割付図)
- ・下地、断熱材等の敷込状況
- ・軒先納め
- ・異勾配屋根の取合納め
- ・棟納め(風見鶏取合納め)
- ・屋根窓の取合納め
- ・その他必要と思われる部分

※提出図面の1枚目、2枚目にわかりやすいように自由にレイアウトして下さい。

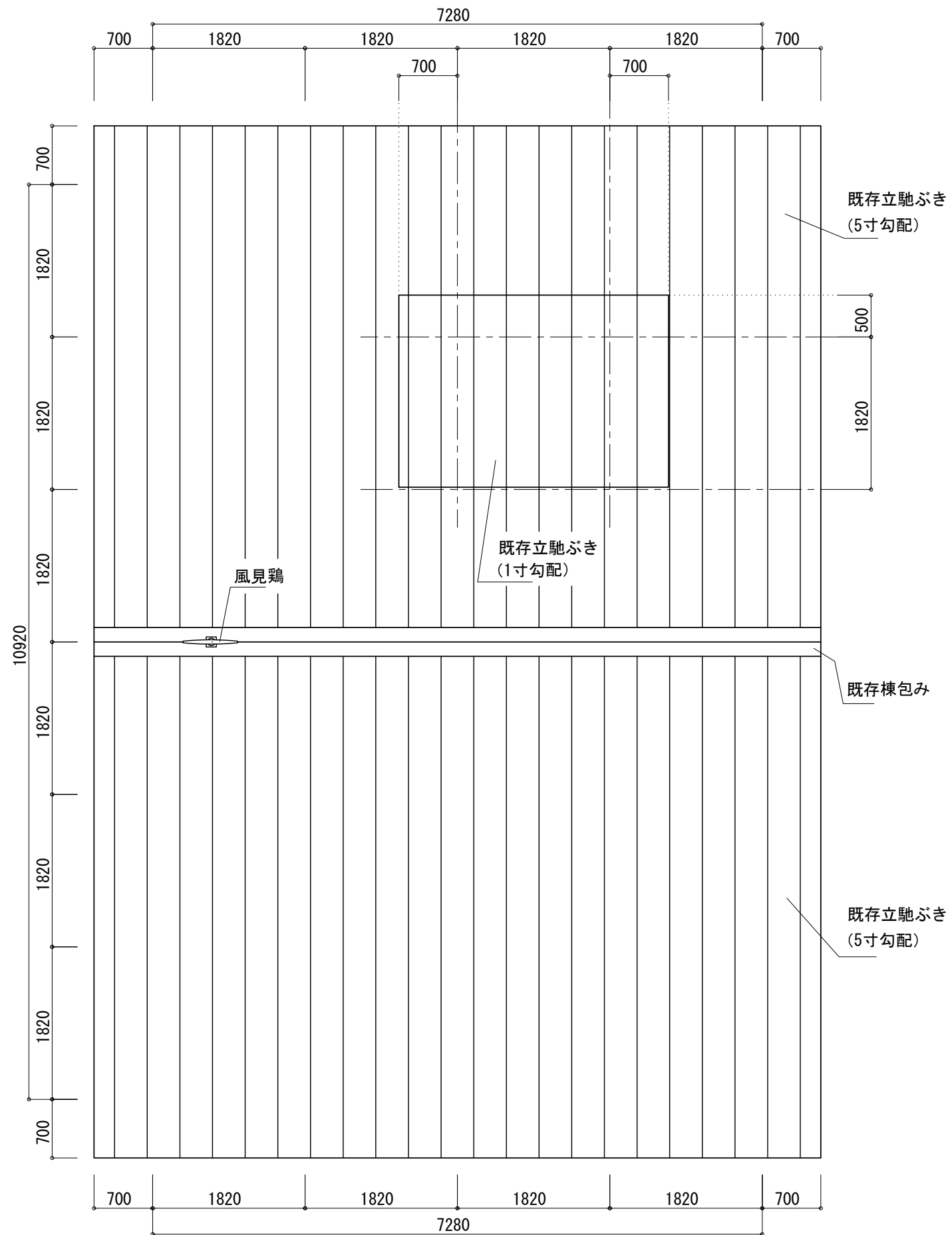
- ・別紙A4用紙に太陽光発電システムの特徴、メリット、デメリットを書いて下さい。(箇条書き可)

条 件

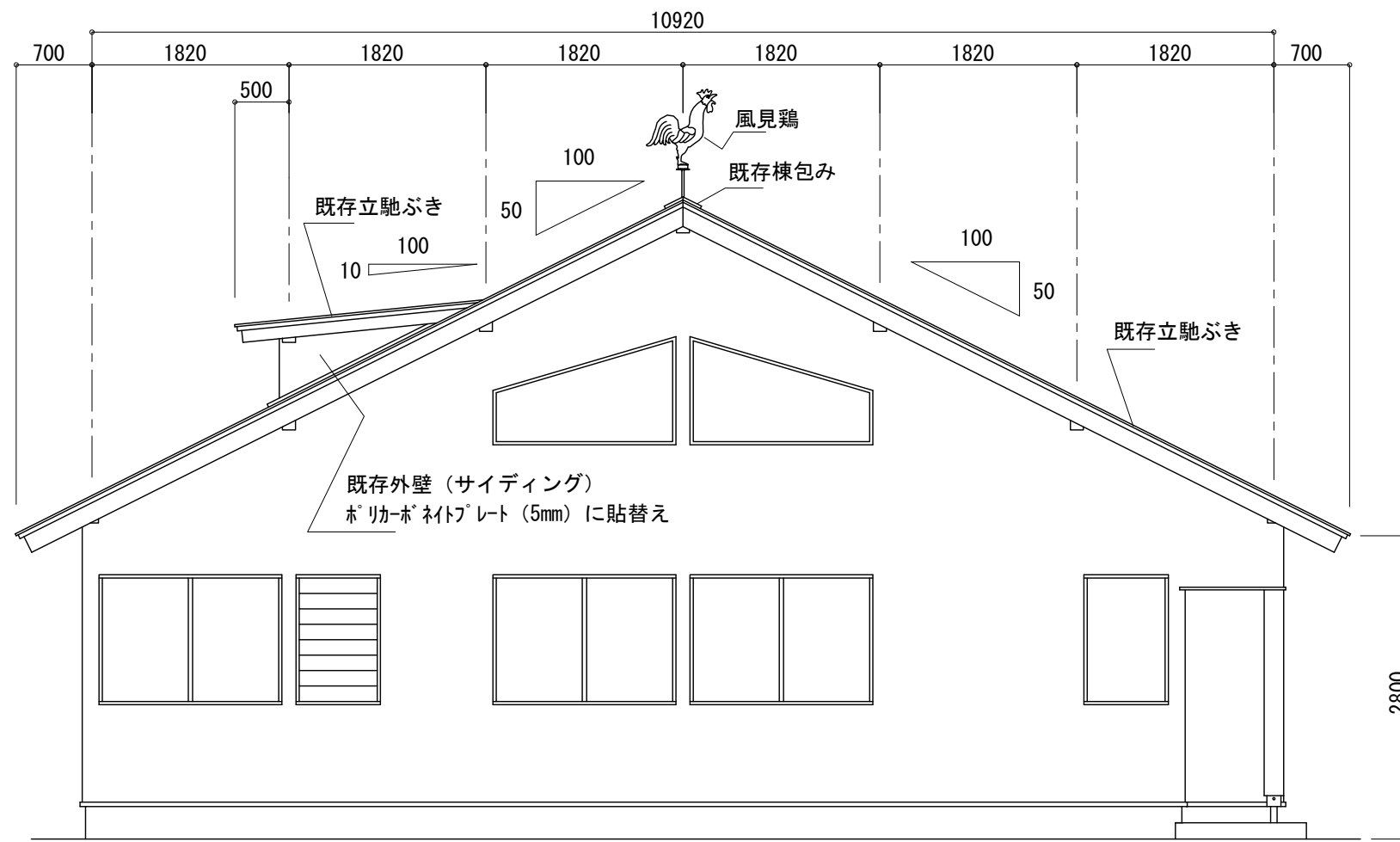
- ・ 施工図面①・②の作成については、友人に対して、実際自分が工事を行う場合の納まり図を描いて仕事をするという意味の図面で、わかりやすく、且つ自分で説明しやすい図面を描いて下さい。但し、色付けは禁止します。別紙 A4 用紙には実際に友人に説明をするための資料として文字で書いて下さい。
- ・ 納まりについては、技術提案も含め実際に自分が施工する内容の納まりにしてください。
- ・ 線の種類並びに寸法の表示位置は、審査の対象といたしますので正しく描いてください。製図総則（JIS Z 8310）並びに建築製図通則（JIS A 0150）による。
- ・ 工事完了後は、(株)全日本建築板金保証センターの保証書を発行していただきます。
- ・ 各所納まり部の技法また寸法については、『建築板金施工法—金属屋根施工篇—』に基づいて図面を作成して下さい。



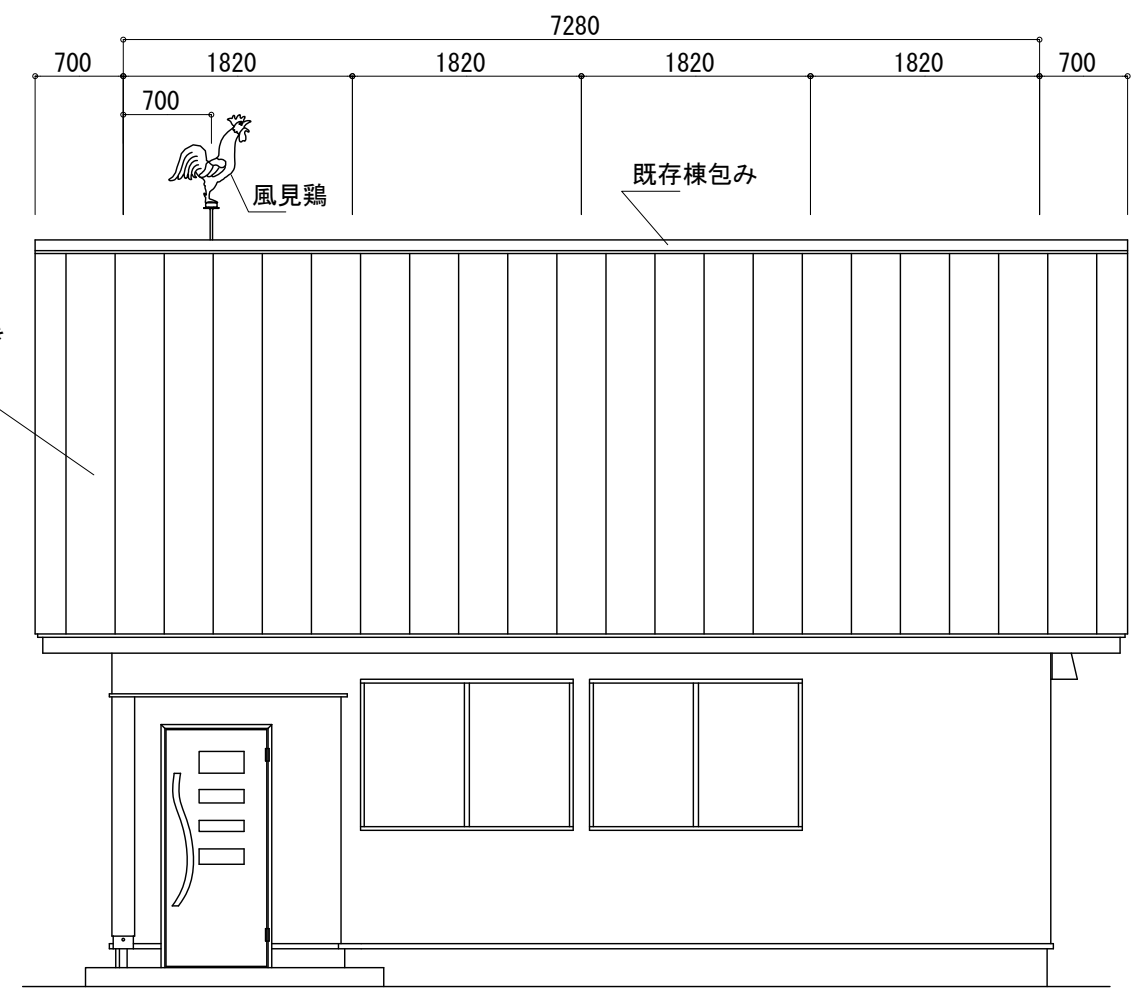
平面図



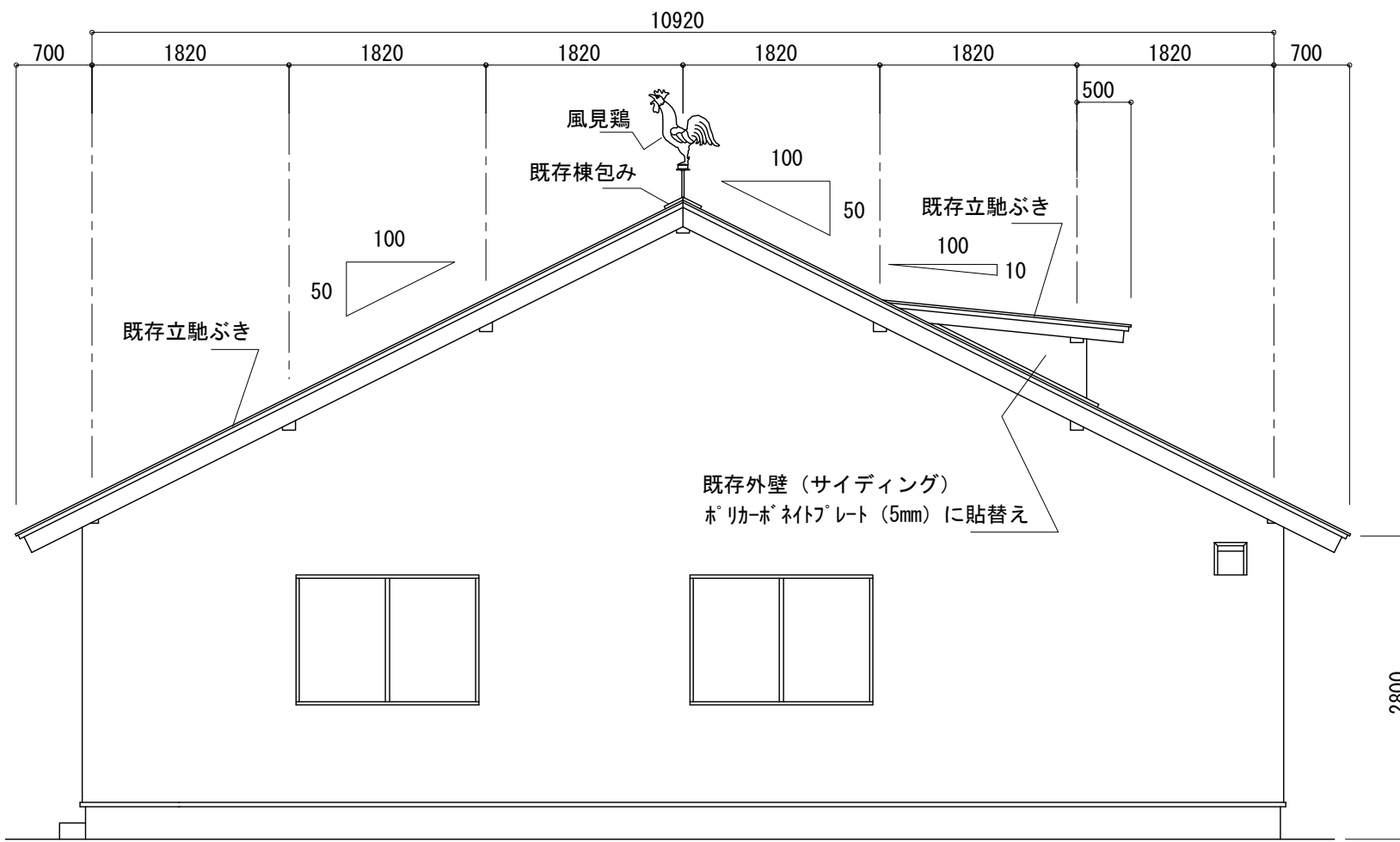
屋根伏せ図



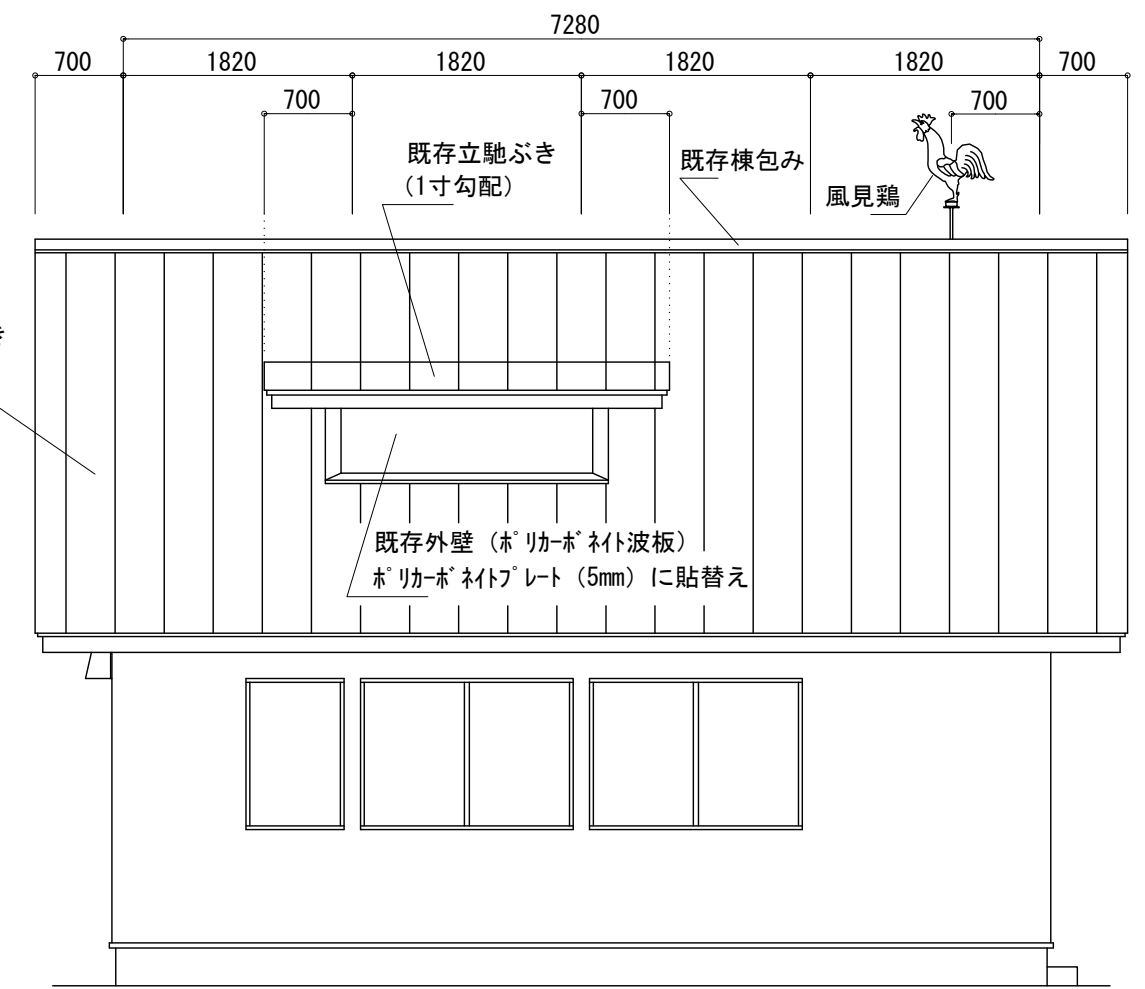
西 立面図



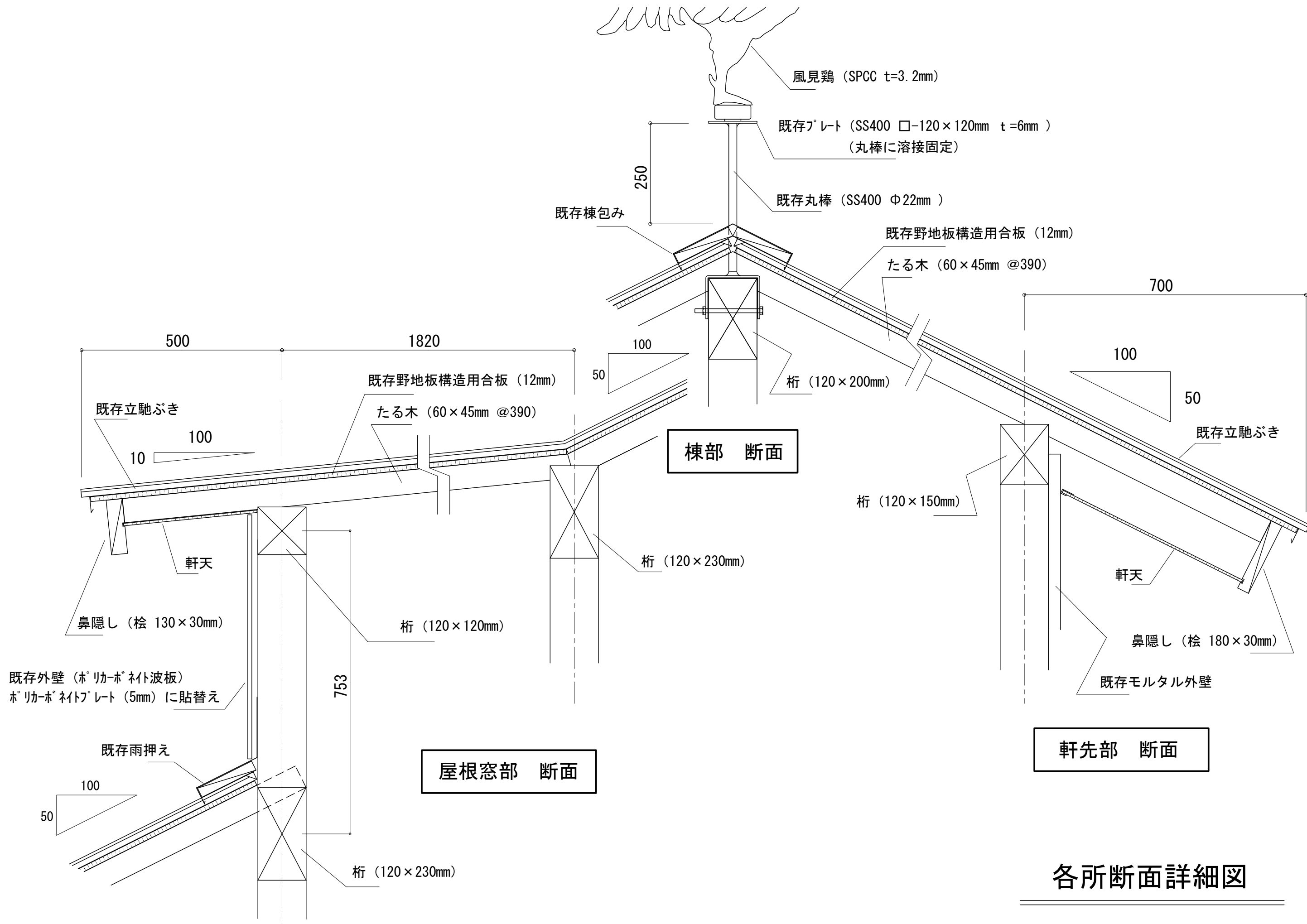
南 立面図



東 立面図



北 立面図



各所断面詳細図